

大会宣言

私たちは、本日、連合山形第29回年次大会において、向こう1年間の活動方針を満場一致で取り組むことを確認した。

今年一年を振り返れば、熊本県を中心とする九州地震や、台風の影響による豪雨などの自然災害が多発し、尊い命が犠牲となり、多くの方々が被災されるなど、日本全国で甚大な被害を及ぼした。あらためて自然の猛威を思い知らされるとともに、労働運動の原点である「助け合い、支え合い」の重要性を再認識した。

衆参ダブル選挙が囁かれながら行われた第24回参議院議員選挙では、民進党をはじめとする野党は「アベノミクス」の是非をはじめ、社会保障政策、安保・憲法改正などを争点とし戦った。しかし、結党直後の民進党は政策や党名の浸透も立ち遅れ、国民の思いを受け止める受け皿とはなり得ず惨敗し、自民党「一強政治」をさらに強化させる結果となった。

安倍首相は「アベノミクス」の失敗を棚に上げ消費税増税を再延期したが、超少子高齢・人口減少社会へ向かう中、社会保障制度の充実と安定化を先送りし、将来世代に負担を負わせることを国民は容認したわけではない。

また、政府は長時間労働の是正や、同一労働同一賃金の実現などをめざすとして「働き方改革実現会議」を設置し、あたかも労働者保護の立場を見せているが、一方で残業代ゼロ法案とも言われる「高度プロフェッショナル制度」や、不当解雇を合法化する「解雇の金銭解決制度」などの導入を目論んでいる。岩盤規制と称し、働く者の犠牲の上に成長戦略を描くことなど断じて許してはならない。

経済の好循環を実現するためには、「底上げ底支え」「格差是正」が重要であり、中小企業の活性化とともに、働く者の労働条件である賃金改善、最低賃金の適正な引き上げが必要である。さらには、人口減少問題や雇用のミスマッチなどの課題を克服すべく、「産学官金労言」の枠組みを構築していかなければならない。

連合山形は、すべての働く者の政策実現と社会的影響力を強化するため、重点方針である組織拡大の取り組みを一層強化していく。さらには、山形県知事選挙推薦候補予定者である吉村美栄子知事の必勝と、来年早々に想定される解散総選挙での連合山形推薦候補予定者の必勝に向け、構成組織、地域協議会、連合山形が一体となって取り組んでいく。

目の前には、多くの課題が待ち構えているが、東日本大震災を風化させない継続した取り組みを柱とし、「働くことを軸とする安心社会」を切り拓こう！

以上、宣言する。

2016年11月10日
連合山形第29回年次大会